



たかが虫さされとあなどるなかれ！ ～蜂窩織炎～

蜂窩織炎（蜂巣炎）は、虫刺されをきっかけに皮膚の常在菌が皮膚の真皮深層から皮下組織に感染が広がる急性の細菌感染症です。

原因菌は、黄色ブドウ球菌やA群β溶血性連鎖球菌であることが多いです。



医師 安元 和博

福岡出身で、久留米大学から飯塚病院で研修し当院へ参りました。趣味はテニス・ゴルフ・ドライブ・旅行です！大分県で勤務するのは初めてですが、がんばります。よろしくお願いします。

【よくある症状】

顔面部や四肢(特に下肢)に局所的に熱感、疼痛、接触痛、掻痒感を認め、時に発熱、悪寒戦慄などの全身症状も認めることがあります。

【受診の目安と救急相談が必要な症状】

- ・発赤部の拡大、腕や脚全体の腫脹、疼痛
- ・発熱 ・不機嫌
- ・ぐったりしている

【自然経過】

虫刺され直後～45 時間に局所的な反応(虫刺痕周辺の発赤や掻痒感)が見られます。また、不明瞭な発赤の拡大、腫脹、熱感、疼痛を認め、発赤や悪寒も認められます。稀に深部に感染が到達すると**骨髓炎**を合併することもあります。

【ご家庭でのケア】

- ・虫刺されスプレーや適切な服装で虫刺され対策をしてください。
- ・虫刺されに気づいた際は、まず虫刺痕を流水で洗浄し、氷嚢等で冷却してください。
- ・抗ヒスタミン外用薬、ステロイド軟膏を発赤部や掻痒部に塗りましょう。
- ・虫刺痕部を手で掻きむしらないようにケア、保護しましょう。



【外来でフォローできる場合と入院する場合】

- ・全身状態が良く、経口摂取および内服が可能な場合は、皮膚の分泌物培養を提出し、内服抗菌薬と外用薬で経過を見ることが出来る場合があります。
- ・高熱や全身状態が悪い場合や内服抗菌薬で症状が改善しない場合、症状の急速な進行を認める場合は、入院での静注抗菌薬、輸液による治療を行います。

【最後に】

登園中や夏休みで自然に触れ合う機会が多くなり、虫に刺されやすい時期となります。虫刺されによる軽い症状で回復する場合がありますが、掻きむしった後から感染し蜂窩織炎となる場合があります。赤みが拡大し痛みが強い場合や発熱をみとめる場合は早めの受診をお願いします。





紫外線対策と日焼け後のケア

紫外線対策は？

紫外線は、日焼けだけでなく、将来の皮膚トラブルの原因になることがあります。

特に子どもの肌は大人よりもデリケートなため、日常的な対策が必要です。

外出時は、日陰や屋根のある場所を活用し、直射日光を長時間浴びないようにしましょう。

紫外線が強い時間帯（午前10時～午後2時頃）は、できるだけ長時間の外遊びは避けると安心です。

帽子をかぶることで、顔や頭を紫外線から守ることができます。長袖の薄手の服も有効です。

日焼け止めは、子ども用の刺激の少ないものを選び、外出する15～30分前に塗り、汗をかいたら

塗り直すと効果的です。特に顔・首・手足など、露出しやすい部分は忘れずに塗りましょう。

また、暑い日はこまめな水分補給も忘れずに行い、熱中症の予防も一緒に心がけましょう。

無理なくできる対策を組み合わせ、お子さんの肌を守ることが大切です。



日焼け後のケアは？

日焼けは、やけどの一種なので、できるだけ早く肌を冷やすことが大切です。

冷たいタオルやシャワーでほてった部位をやさしく冷やしましょう。

肌が赤くなっている場合は、こすらずに保湿を行い、刺激の少ないローションやクリームでしっかり潤いを補います。

水ぶくれができている場合は、潰さず清潔に保ち、無理に触らないようにしてください。

また、体の中からのケアとして、水分をこまめにとり、脱水を防ぐことも大切です。

日焼けした部分はしばらく敏感になっているため、強い日差しを避け、外出時は衣服などで保護しましょう。



★こんな時は受診を

- 強い赤みや広い範囲の日焼け
- 水ぶくれがある
- 発熱やぐったりしている
- 痛みが強い

お子さんの肌はとてもデリケートです。日焼け後は早めにやさしくケアしましょう。



参照元：こどもの紫外線対策について日本小児皮膚科学会 http://jspd.umin.jp/qa/03_uv.html
「日焼け」日本皮膚科学会 <https://www.dermatol.or.jp/qa2/index.html>

～診療時間のご案内～

午前 9:00～12:00

午後 15:00～18:00（月～金）
14:00～18:00（土）

乳児健診・予防接種

14:00～17:00（水曜のみ）予約制

☆休診日：日曜・祝祭日・年末年始

ただし急患の方はこの限りではありません
お電話なしでご来院ください

☆付き添いに関してのお願い☆

当院では感染拡大防止対策として、入院患者様の付添いや時間外の面会を制限させていただいており、また外来診察は、

『患者さま1名につき、付添い1名のみ』

とお願いしています。付添いがお一人で難しい場合は、スタッフにご相談ください。

ご理解の上、ご協力をお願いいたします。